

整理番号	事業名
補-6	配偶者等暴力被害者自立支援事業補助金

所管部局
子ども未来部子育て支援課

※()の数字は、委員数

所管部局の評価			外部評価	
評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価の妥当性	「妥当でない」と評価した理由
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	Ⓐ 妥当(4) 妥当でない(0)	
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当	Ⓐ 妥当(4) 妥当でない(0)	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	妥当(2) 妥当でない(2)	○どのようにしたら成果指標を目に見える形で示すことができるのか検討する必要がある。 ○受益者へのアンケートを実施し、今後の事業改善に生かしてほしい。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適	Ⓐ 妥当(4) 妥当でない(0)	
コスト・負担	コストの節減度	節減できている	Ⓐ 妥当(4) 妥当でない(0)	○寄付金等の増加を図るため、市としてPR等の後方支援をお願いしたい。
	将来コスト増減見込み	現在と変わらない	Ⓐ 妥当(3) 妥当でない(1)	
	受益者負担の適正度	適正	Ⓐ 妥当(4) 妥当でない(0)	
執行方法	外部委託の可能性	評価対象外		
	実施方法の効率性	評価対象外		

所管部局による今後の改善策	
基本方針	現行どおり



今後の改善策について	意見・提言
①現行どおり (2) ②改善(0) ③当面現状維持(2) ④廃止(0)	○支援者の増加に対応するためには寄付金等の増加が必要であり、市としても早急にPR等の支援充実を図ってほしい。 ○警察庁の発表では男性被害者が多い年は4割もいて、暴力より凶器を使われることから被害がより大きい。女性だけの支援策ではない。窓口が「女性相談室」であることなど、名称の変更も含めて見直しをすべき点はあると思う。 ○男性も相談がしやすいPRの方法や、受託事業者の活動がしやすい環境づくりのサポートを行政としてお願いしたい。
外部評価委員会としての提言	
Ⓐ 当面現状維持	

